

痛くないインフルエンザ検査「nodoca」を導入しました！

たけの子クリニックでは、AI 医療機器「nodoca」を導入いたしました！

AI 搭載の咽頭内視鏡システムを用いて、インフルエンザウイルス感染症の診断を行います。

日本で初めて「新医療機器」として認証を取得した AI 搭載医療機器であり、保険適応となります。

①痛くない！（のどを写真とる）②保険適応 というのが特長です。

①従来のインフルエンザ検査では、鼻の奥に綿棒をいれて、粘膜をこすするため、痛みや不快感がありました。口の中に専用のカメラをいれて咽頭を撮影する nodoca では、写真撮影するだけです。痛みがありません。

②保険点数は、従来の検査と同等です。

専用カメラで撮影した咽頭の画像と問診データを AI で解析し、インフルエンザに特徴的な咽頭の様子や症状があるかを判定します。

#### 検査適応

①6歳以上であること

②口を大きく開けることができること。

口の中というより、喉(咽頭後壁)の撮影となるためカメラを少しだけ深く入れる必要があり、口を大きく開ける必要があります。

この2つの条件を満たせば、ほとんどの患者さんが検査可能です。

一般的なインフルエンザ感染症抗原検査は、発熱後 12～24 時間以降でなければ判定が難しいことがあります。

しかし、発熱早期に関しては『nodoca(AI 搭載インフルエンザ検査医療機器)』の方が抗原検査よりも精度が高いと言われています。

口の検査が苦手な場合(咽頭反射が強い子)には使いづらいことがあるため、お子さんに合った検査方法を選択させていただきます。**コロナの検査は鼻腔(鼻の手前)の検査で行います。**

初めてのことで、ご不明点やご不安な点が多いかもしれませんが気になることがありましたら気軽にスタッフにお声がけください。

## 医師の目線で開発した日本初<sup>※1</sup>のAI搭載「新医療機器」<sup>※2</sup>

インフルエンザの診断に役立つ情報には、インフルエンザ菌の所見や、特定の症状の組み合わせ、また鑑別のため高解像度・高感度・高精度に特化した所見が必要となります。従来の検査では、医師の経験と目力に依存して診断が行われていたことが多く、患者さんの負担が大きくなる傾向がありました。これらを含め、50万枚以上の検査画像データベースを元に学習して構築されたAIを搭載したカメラが nodoca です。

この際、nodocaは、新医療機器として厚生労働省の製造販売承認を得るとともに医療適用となりました。自律分散型（自律分散型、遠隔診断）にも従来のインフルエンザウイルス迅速検査キットを用いた診断の場合と同様（30S）となり得ます。



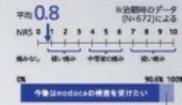
スタッフを介さず患者の手をさすことなく  
ディスプレイを覗きながらストレートライン撮影

2.4  
インチ

加熱忘れを防ぐカメラスタンド

## 01 患者負担が小さい新しいインフルエンザ検査

nodocaで撮影した咽頭画像と体温や自覚症状等をAIが解析することで、判定開始から数秒～十数秒でインフルエンザ判定結果を取得可能です。治療時のNRSによる患者の平均 Q.8 と低く、検査時間の短縮による待ち時間の削減、及び痛みなどの点において、患者さんへの負担の小さいインフルエンザ検査の提供が実現です。実際に、治療患者の90.6%が今後nodocaの検査を受けたいと回答しています。



今後はnodocaの検査を受けたい

今後も従来の検査を受けたい

WiFi



nodocaクラウド

## 02 判定開始から、数秒～十数秒<sup>※3</sup>で判定結果取得

nodocaは一度の撮影から検査完了まで、診察室内でスピーディーに行えます。判定開始から数秒～十数秒でインフルエンザ感染に特徴的な咽頭所見・咽頭の発色の有無がわかるため、患者さんへ待合室に立つてもらうことなく、その場で検査結果をお伝えできます。忙しい医療現場で、効率的な診療をリポートします。

※インフルエンザウイルス感染症の診断は従来の検査法と同様に、本品による判定結果のみで行わず、臨床症状や他の検査結果などと併せて医師が総合的に判断してください。



nodocaが提供する新しいインフルエンザ検査の流れ

## 03 咽頭専用カメラにより、咽頭をクリアに撮影可能

咽頭の鮮明な撮影のために、専用カメラを新開発しました。高解像度レンズ、ペンライトを兼ねた高輝度白色LED照明、ディスプレイが邪魔をしない独自のストレートライン構造、広視野の撮影を可能にするカメラ（クリアース）等、咽頭をクリアに撮影できる様々な技術を駆使しています。クリアースも搭載することで、医師、かつ感染予防にも配慮しつつ撮影できます。

カメラで撮影された画像は、WiFi経由でnodocaクラウドに保存され、お手持ちのPCやタブレット端末のWebブラウザから閲覧できます。また、遠隔診断による検査のばらつきを減らすように、AI判定に適した画像をAIが識別する標準化プロセスを採用しています。



高解像度レンズ

高輝度白色LED照明

nodocaで撮影した画像

## 日本初のAI新医療機器

# nodoca

保険適用

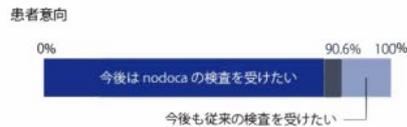
患者さんの負担が小さく、すぐに判定結果が得られる  
新しいインフルエンザ検査機器

一般名: 内視鏡用テレスコプ  
(内視鏡用画像処理専用長持ち支援プログラム)  
販売名: nodoca (ノドカ)  
承認番号: 3040082X00101000



※ nodocaは、2022年4月26日、「新医療機器」として厚生労働省による製造販売承認を取得。  
※ インフルエンザウイルス感染症の診断は従来の検査法と同様に、本品による判定結果のみで行わず、臨床症状や他の検査結果などと併せて医師が総合的に判断してください。

nodocaは痛みが少なく、判定開始から数秒～数十秒で判定結果が得られる、新しいインフルエンザ検査機器です。



nodocaは、咽頭画像と体温や自覚症状等をAIが解析することで、インフルエンザに特徴的な所見や症状等を検出する新しいインフルエンザ検査です。

厚生労働省が定める「新医療機器」の承認を、日本で初めて取得したAI搭載医療機器となりました。痛みが少なく、判定結果も判定開始から数秒～数十秒でわかるので、患者さんへの負担が小さく実施できる新しいインフルエンザ検査です。



医師の目線で開発した日本初のAI搭載「新医療機器」



咽頭専用カメラにより咽頭をクリアに撮影可能



患者さんへの負担が小さい新しいインフルエンザ検査